

5 水をむだにしない

わたしたちが^{つか}使っている水は、いくらでもあるのでしょうか。
上流^{じょうりゅう}にダムをつくらなければ、今よりも多く利根川から水^とを取ることはできません。

ダムをつくるためには、そこに暮^くらしている人たちの生活^{しぜん}や自然への影^{えい}響^{きょう}など、多くの点に気^{くば}を配^{ひつ}る必要^{よう}があります。

かぎりある水^{たいせつ}を大切^{たいせつ}にして、むだはなくして必要^{ひつよう}なだけ利用^{りよう}することが、わたしたちひとりひとりに求^{もと}められています。

・家庭^{かてい}でできること

わたしたちは、水^{みづ}をむだにしていますか。家庭^{かてい}では、風呂^{ふろ}、洗^{せん}たく、台所^{だいどころ}、トイレなどでたくさん^{たくさん}の水^{みづ}を使^{つか}っています。

歯^はをみがくときや台所^{だいどころ}で食器^{しょくき}をあらうときなど、水^{みづ}を流^{なが}したままにしていますか。水^{みづ}を「出^だしっぱなしにしない」「出^だしすぎない」「しっかりとめる」「こまめに止^とめる」が水^{みづ}の節^{せつ}約^{やく}の基本^{きほん}です。

風呂^{ふろ}の残り湯^{のこゆ}は、そうじなどの水^{みづ}に利用^{りよう}することもできます。

水道^{すいどう}の蛇口^{じゃぐち}に取り付^とける節水^{せつすい}コマ^注など、節水^{せつすい}グッズ^{かつよう}を活用^{かつよう}していますか。節水^{せつすい}型^{がた}トイレや食器^{しょくき}洗^{あら}い機^きなど、節水^{せつすい}できる機^き器^きを導入^{どうにゅう}するのも有効^{ゆうこう}です。

水^{みづ}を節^{せつ}約^{やく}する方^{ほう}法^{ほう}は、いろいろありま^ます。水^{みづ}の使^{つか}い方^{かた}をもう一度^{いちど}見^み直^{なお}してま^ましょう。

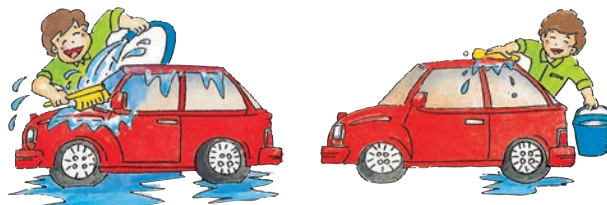
水^{みづ}の節^{せつ}約^{やく}

洗面^{せんめん}、歯磨^{はみが}きは洗面器^{せんめんき}やコップ^{つか}を使^{つか}いましょう



なが^{なが}流^{なが}したままの場合^{ばい}、1分間^{ぶんかん}に約12ℓ^{やく}のムダ

バケツ^あ洗^{あら}いなら3～4杯^{はい}ですむ洗車^{せんしゃ}も流^{なが}しっぱなしのホース洗^あいでは24杯^{はい}以上^{じょう}の水^{みづ}が必要^いです



県ホームページ：「意外とカンタン！ 節水の方法」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sessui.html>

注 節水コマ：水道の蛇口内部に取り付けるゴム製または樹脂製のコマで、水の勢いを抑えて流れ出る水を少なくする。

・農業では

農業用水は、昔は上流の水田から下流の水田へとくり返して使われていました。

水田にたまった水の一部は土にしみこんで地下水となり、地域の地下水を補給する重要な役割をもっています。

今では、水を必要な量だけ送るためにパイプを利用したり、使った水をもう一度使うための施設を設置したり、畑の野菜にスプリンクラーで散水するなどして水を大切に使っています。



用水路（パイプライン）道路に管を埋める工事のようす



はんぷくきじょう
反復機場

一度使った水をもう一回使うための施設



スプリンクラーによるかんがい

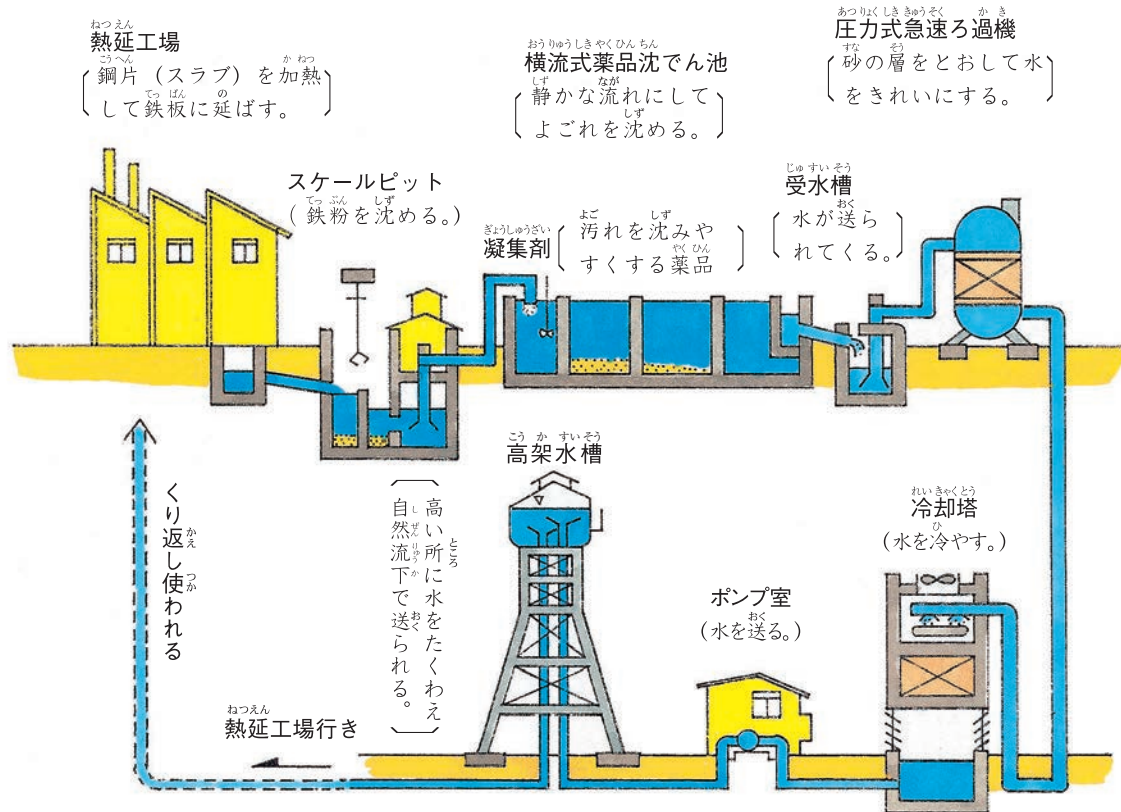
畑に散水しているようす

・工場では

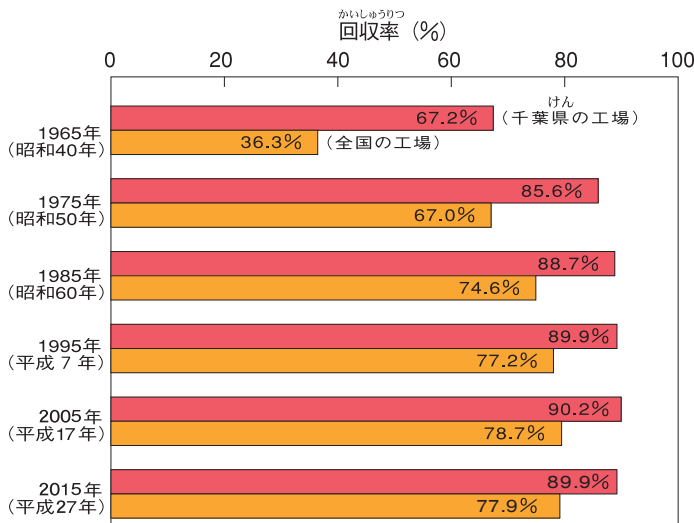
工場でも、水をくり返し使っています。くり返して使うことにより、工業用の水や井戸の水が節約されます。千葉県では、水の回収率が高く、全国で2番目※となっています。

※総務省・経済産業省公表の平成28年経済センサス活動調査結果（製造業）による。
平成29年工業統計調査以降は、回収水については、調査を行っていない。

工場回収水の施設 製鉄所の場合



工業用水の回収率

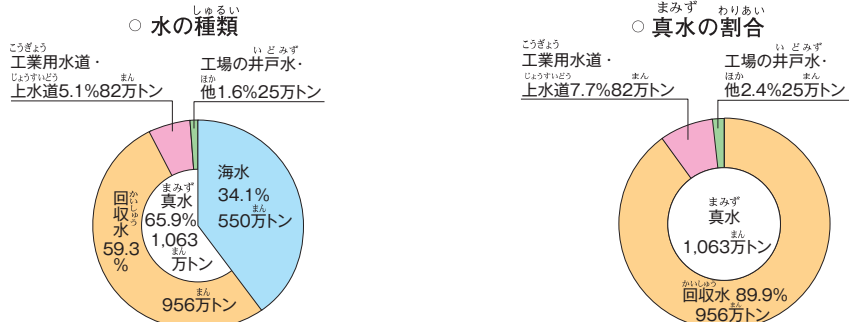


■ 回収率：工場で使う真水の全量に対して、回収水のしめる割合

■ 2015 (平成 27) 年の千葉県の工業用水の回収率※は、89.9%。仮にすべて新しい水を使ったとすると、新しい水 1,063 万トン必要となるところが、回収水を 956 万トン (89.9%) 使ったことにより、新しい水は 107 万トン (10.1%) ですむことになった。

千葉県の工場の使用水量 (2015 (平成 27) 年・従業員 30 人以上の 1,318 工場)

1日平均使用水量 1,612 万トンを100%とすると、



※ 総務省・経済産業省公表の平成28年経済センサス・活動調査結果（製造業）による。
平成29年工業統計調査以降は、回収水については、調査を行っていない。